

まちづくりに 皆さんの声を お聞かせください

町では、『第6期厚岸町総合計画』の見直しを進めています。
総合計画は、厚岸町をより良いまちにするために策定し、総合的・計画的
なまちづくりを進めるための基本的な指針となるものです。

総合計画は

まちづくりの基本になります

総合計画とは、まちづくりを進める上で最も基本となる最上位の計画であり、長期的な視点に立って厚岸町が目指すまちの将来像などを示す『基本構想』（10年間）、中期的な視点に立って施策の大綱を実現するための施策を分野別に定める『行動計画』（前期5年間、後期5年間）、行動計画で定めた施策について事業内容を年次ごとに明らかにし、予算編成の指針となる『実施計画』（3年間）の3層で構成しています。

基本構想の見直しと 後期行動計画の策定

現在、厚岸町では令和2年度から10年間を計画期間とする『第6期厚岸町総合計画』に沿ってまちづくりを進めています。しかし、計画策定から3年が経過し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、ロシアによるウクライナ侵攻を契機とした物価高騰、気候変動に伴う自然災害の激甚化や頻発化、国における脱炭素化やデジタル化の推進など、計画策定時には想定していなかった社会情勢の変化が生じており、計画の推進に大きな影響を与えています。

こうした状況の中、総合計画に掲げた『めざすまちの姿』を確実に実現